

令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量 (10月15日現在 島根県)

【調査結果の概要】

1 作付面積

令和2年産水稻の作付面積（子実用）は1万7,100haで、前年産に比べ200ha（1%）減少しました。

また、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は1万6,800haで、前年産に比べ100ha（1%）減少しました。

2 作柄概況

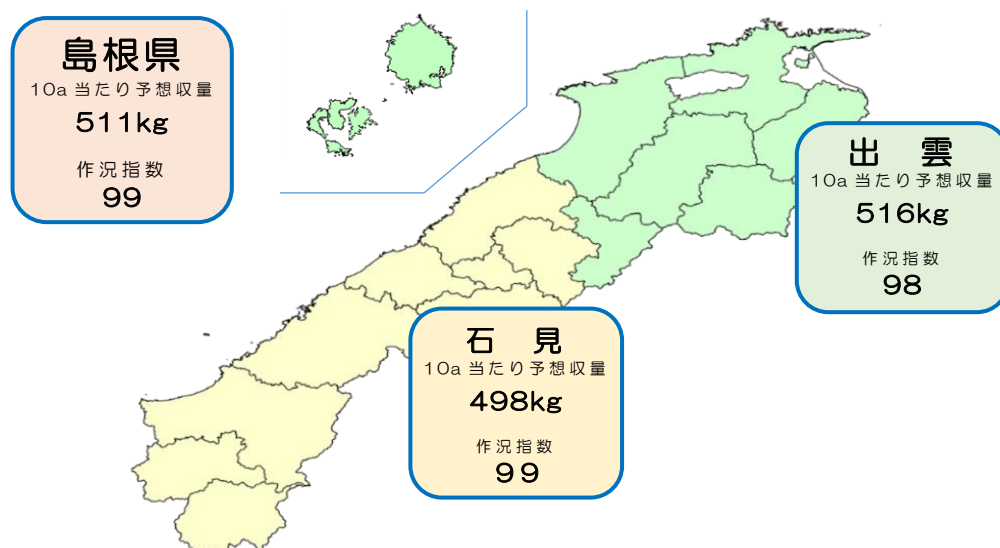
穂数は、田植期以降高温・多照で推移していたものの、7月の低温・日照不足の影響もあり、「平年並み」となりました。1穂当たりもみ数は、7月の日照時間が少なかったものの、8月以降高温、多照に経過したことから「やや多い」となりました。この結果、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は「やや多い」となりました。

登熟は、全もみ数がやや多いことによる相反作用に加え、8月下旬から9月中旬にかけての高温の影響と9月中旬以降の日照不足から粒の充実が抑制されたこと等により、「やや不良」と見込まれます。

以上のことから、島根県の10a当たり予想収穫量は511kgとなり、前年産に比べ5kgの増加が見込まれます。作柄表示地帯別では、出雲が516kg（前年産と同値）、石見が498kg（同15kg増加）と見込まれます。

また、農家等が使用しているふるい目幅ベース（島根県1.90mm）の作況指数は99（平年並み）と見込まれます。作柄表示地帯別では、出雲が98（やや不良）、石見が99（平年並み）と見込まれます。

図1 作柄表示地帯別10a当たり予想収穫量及び作況指数（10月15日現在）



3 予想収穫量

以上の結果、予想収穫量（子実用）は8万7,400tとなり、前年産に比べ100t（0.1%）の減少が見込まれます。

また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた主食用の予想収穫量は8万5,800tとなり、前年産に比べ300t（0.4%）の増加が見込まれます。

表1 令和2年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月15日現在）

単位：%

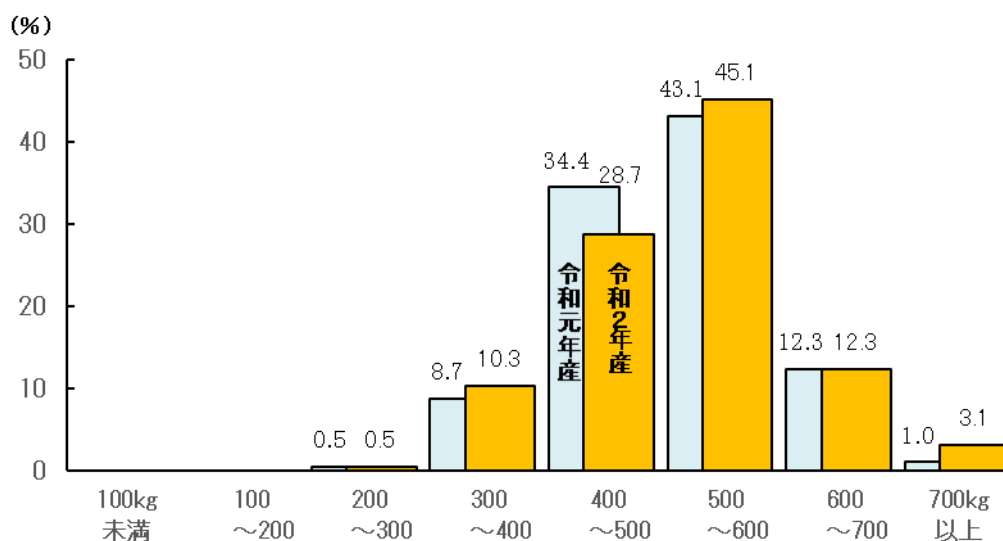
県・作柄 表示地帯	区分	計	ふるい目幅別重量分布状況					
			1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
島 根	重量割合	100.0	0.7	1.3	2.1	2.7	15.0	78.2
	平均値	100.0	0.6	1.1	1.7	1.9	11.1	83.6
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.2	0.4	0.8	3.9	△ 5.4
出 雲	重量割合	100.0	0.7	1.4	2.2	2.8	15.2	77.7
	平均値	100.0	0.7	1.2	1.8	2.0	11.8	82.5
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.2	0.4	0.8	3.4	△ 4.8
石 見	重量割合	100.0	0.7	1.2	2.0	2.4	14.5	79.2
	平均値	100.0	0.6	1.0	1.5	1.7	9.5	85.7
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.2	0.5	0.7	5.0	△ 6.5

表2 令和2年産水稲の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

単位：%

区分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700kg 以上
筆数割合	100.0	—	—	0.5	10.3	28.7	45.1	12.3	3.1
前年値	100.0	—	—	0.5	8.7	34.4	43.1	12.3	1.0
対前年差(ポイント)	0.0	—	—	0.0	1.6	△ 5.7	2.0	0.0	2.1

図2 令和2年産水稲の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

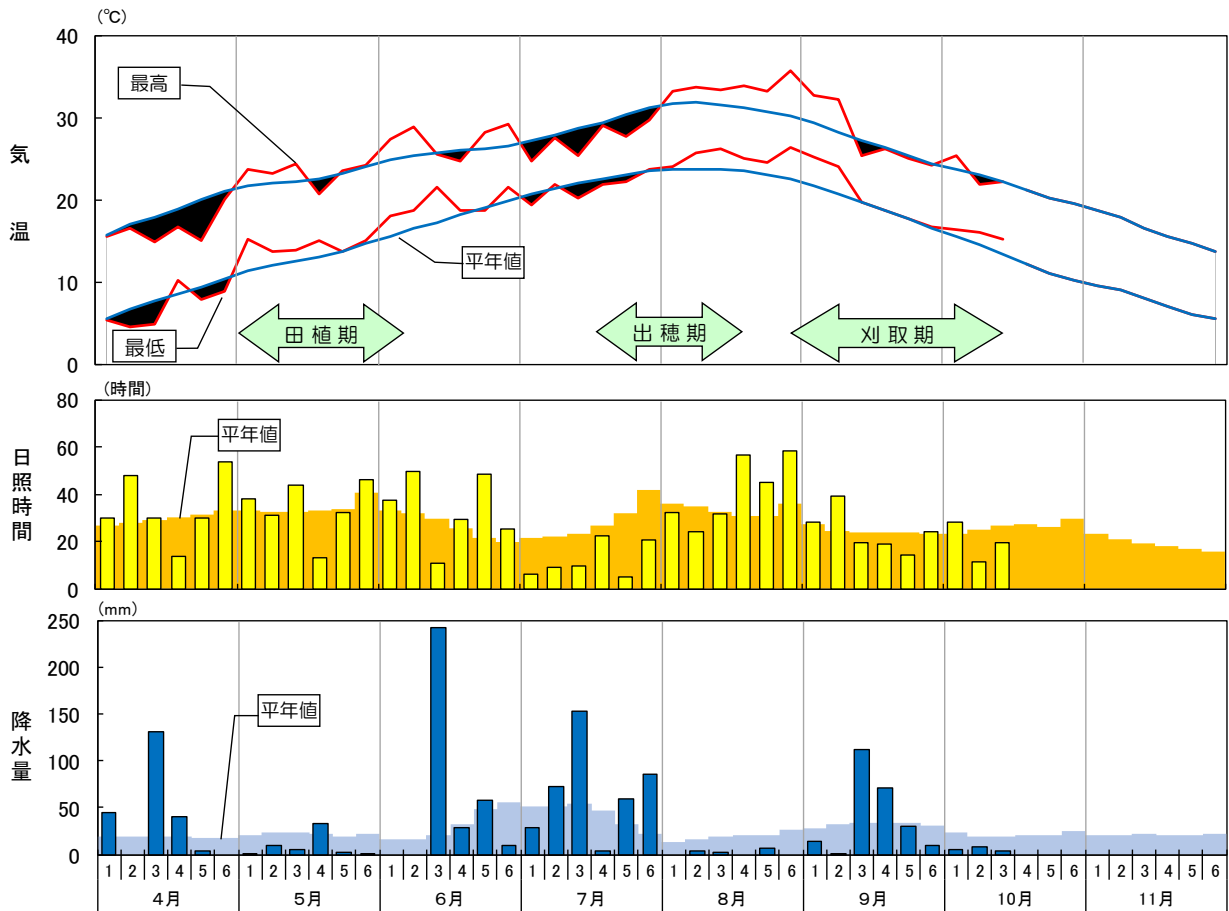


◎ 累年統計表

区分	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収穫量 (子実用)	作況指数	参考	
					主食用 作付面積	収穫量 (主食用)
	ha	kg	t		ha	t
島根県 平成22年産	19,400	482	93,500	95	19,200	92,500
23	19,000	514	97,700	101	18,800	96,600
24	19,100	519	99,100	102	18,900	98,100
25	19,100	514	98,200	101	18,800	96,600
26	18,600	503	93,600	99	18,200	91,500
27	17,900	503	90,000	98	17,500	88,000
28	17,700	528	93,500	104	17,300	91,300
29	17,500	519	90,800	102	17,200	89,300
30	17,500	524	91,700	103	17,200	90,100
令和元年産	17,300	506	87,500	99	16,900	85,500
2(見込み)	17,100	511	87,400	99	16,800	85,800
出雲 平成22年産	13,100	486	63,700	95
23	12,900	514	66,300	100
24	13,000	523	68,000	102
25	13,000	522	67,900	102
26	12,700	511	64,900	99
27	12,300	509	62,600	98
28	12,200	533	65,000	104
29	12,100	525	63,500	102
30	12,100	535	64,700	103
令和元年産	12,100	516	62,400	100
2(見込み)	12,100	516	62,400	98
石見 平成22年産	6,220	474	29,500	95
23	6,080	514	31,300	103
24	6,100	510	31,100	102
25	6,070	498	30,200	100
26	5,860	485	28,400	97
27	5,640	491	27,700	99
28	5,560	517	28,700	104
29	5,410	505	27,300	102
30	5,340	499	26,600	100
令和元年産	5,150	483	24,900	97
2(見込み)	5,030	498	25,000	99

◎ 半旬別気象図

松江市の気象図



気象庁「アメダス」を基に作成

本資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在 中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

お問合せ先

中国四国農政局 島根県拠点 統計チーム 担当：糸井、池田
 電話：0852-26-7700 FAX：0852-32-2630